



喜多方ロータリークラブ第12回（通算3406回）例会

日 時：令和6年9月24日（火）12：30

場 所：商工会議所2F大ホール

お 食 事：長澤屋 カルビ弁当

会場監督：伊藤 二郎

- ◎開会点鐘 瀬野 勝治会長
- ◎ロータリーソング 第4週 それでこそロータリー
- ◎四つのテストの唱和
- ◎握手をしましょう
- ◎お客様紹介 大森 幹久副会長

・喜多方市産業部

観光交流課長・喜多方ラーメン課長・そば課長 瓜生 昭彦(うりう あきひろ)様

- ◎お食事をどうぞ
- ◎会長挨拶 瀬野 勝治会長
- ◎幹事報告（来信・お知らせ） 密井 康一幹事
 - ・ガバナー事務所より、大阪・関西万博 開幕祭のご案内
RLI 第7期パートII開催のご案内
地区大会 学友ナイト開催のご案内
3-Year Rolling Goals の設定についてのお知らせ 接手
 - ・会津分区ガバナー補佐事務所より、第2回ガバナー補佐訪問のご案内
会津分区親善ゴルフコンペのご案内 接手
 - ・天童・白河 各RCより、年次計画書 接手

◎第7期RLIパートI修了証 授与・・・会長より
(ロータリーリーダーシップ研究会)

・密井 康一 幹事

◎ゲストスピーチ

喜多方市産業部

観光交流課長・喜多方ラーメン課長・そば課長 瓜生 昭彦 様



「喜多方ラーメン課・そば課の取組について」

◎委員会報告

- ◎ニコニコBOX
- ◎出席報告
- ◎閉会点鐘

2024.9.24 会長あいさつ

みなさん、こんにちは！暑さ寒さも彼岸までと言われますが、この三連休は雨のせいかわ涼しい三日間でした。ただ、天気が良ければ出かける計画をしていた人も多くいたと思います。今日の天気が土曜日だったらと思っているのは私だけではないと思います。今日1日は防災の日でもありました。災害はいつ起こるのか分かりませんが毎回のようになっている事前準備が重要です。つい先日ですが古い消火器の処分について電話をいただきました。話の内容から危険性があると考えられましたので、本日はそのあたりの話しをさせていただきたいと思っております。実際の消火器を持参してしますので、見ていただきながら説明させていただきます。消火器の種類は大きく分けて水系、ガス系、粉末系の三種類になります。建造物の用途によって使い分けられますが、みなさん、一般的に見覚えあるのがこちらの粉末消火器になると思います。標準タイプの10型サイズでメーカーにより若干の違いはありますが中身は薄ピンクや薄オレンジ色の消火薬剤になります。油火災・電気火災・普通火災とすべての火災に対応します。放射時間は約18秒と短く、実際使用するときには慌てて、正しく使用できない場合が多いと聞きます。使用する時の注意点としては必用以上に火に近づかない、火の元をほうきではなくようにする、この2点が重要です。慌てて必要以上に近づきすぎると火傷をおう危険がありますので、火の元より3M～4Mの距離からほうきではなくように消火することが大事です。今日、持参している消火器は蓄圧式と言いまして特徴としましては圧力計がついています。10数年前までの消火器は加圧式と言いまして圧力計がついておりません。何が違うかと言いますと加圧式は内部にポンプがあり、その圧力によって薬剤を放出し、一度放出がはじまると全ての薬剤が放出されるまで止まりません。一方の蓄圧式は内部に窒素ガスが蓄圧され、レバーを離せばその時点で放出も止まります。当初の危険を伴うのは加圧式の消火器に限られます！と言うのも加圧式の場合はレバーを握る事により内蔵された加圧ポンプを破封し、その圧力により消火薬剤を放出する仕組みです。消火器底部が腐食により、強度が低下していればレバーを握った瞬間、圧力が底部に抜け消火器がロケットのように飛びます。その際に体を直撃し、死亡事故に発展した事例も多くあります。ほとんどの消火器が鉄製のため、その衝撃は計り知れません。蓄圧式は常時容器自体に圧力がかかっているため、容器が老朽化した場合、圧力が容器外に漏れるために比較的安全です。そのことを踏まえ現在は蓄圧式消火器が主流となっております。皆さんの自宅などにある古い消火器、特に屋外に長期間放置している消火器などは廃棄する場合十分な注意が必要です。出来るならば、触らずに専門業者に連絡をしての引き取りをお勧めします。青少年交換派遣学生のノア君について報告があります。8/26よりザベリオ学園に通っていましたが、色々ありまして現在ノア君は学校に行っていません。何度か話し合いの上、先週20(金)には早川ガバナー、藤田青少年交換委員長、私、密井幹事、五十嵐健展青少年交換委員で再度ザベリオ学園へ謝罪とお願いに行って参りましたが、結果ザベリオ学園としてはもう受け入れは出来ないとの事でした。学生ビザで来日してますので学校に通えないのでは本来、帰国するしかありません。ただ、我々としてもやれる事はやりたいと伝え、次が見つかるまで席をおいてほしい(休学扱い)とお願いをして承諾頂きました。庄司さんホストファミリーにも学校に通うのを前提に引き受けて頂きましたので、現在の状況では厳しいものがあります。そこで29(日)より須賀川の藤田青少年交換委員長の所でノア君を引き受けて頂く事になりました。今後は地区の指導のもと、我々としても協力できる事には協力し、どのような結果になるか、今はまだ分かりませんが進捗状況が確定しましたら、皆さんにはご報告させていただきますのでご容赦ください。それでは本日もどうぞよろしくお願いいたします。

